

Mechanical Engineering

機械科

定員
40名

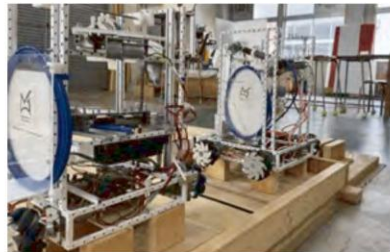
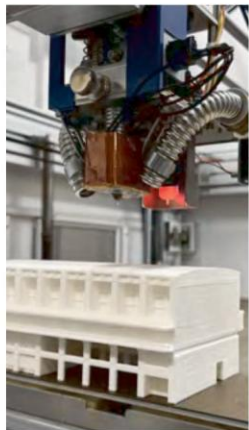
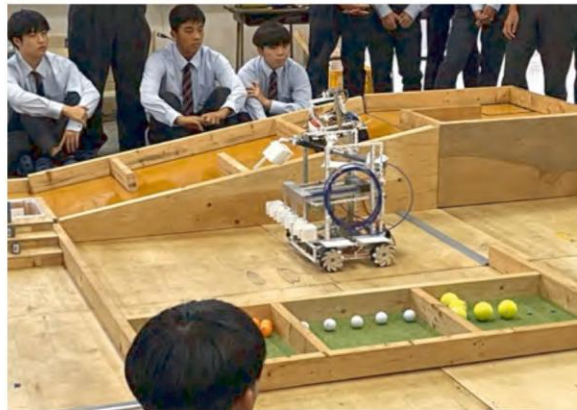


機械科 特徴

機械科で学ぶ未来の「ものづくり」

機械科では、機械や材料、機器に関する基礎知識と技術を学びます。授業や実習を通じて、機械工作、設計、製図などを体験し、ものづくりの楽しさを感じながら学び、先進的な技術に対応できる人材を目指します。

- Point① 旋盤作業や溶接作業といったものづくりの基盤技術を学ぶ
- Point② 3Dプリンタやレーザー加工機などの最新のものづくり体験
- Point③ 熟練技能士や国家技能士からの手厚い指導の充実
- Point④ 地域の諸課題から地球規模の課題まで、工業的視点で解決に挑戦



3年機械科 中村さん(水俣第二中学校出身)「機械科での学びは、私の未来づくり」

私はカヌー部に所属し、インターハイ出場を目指して日々練習に励んでいます。部活動と資格取得の両立は大変ですが、その努力は就職試験での大きな強みになると信じ、自分の進路実現に向けて全力を尽くしています。私が所属する機械科の魅力は、多くの実習を通じて自分の得意分野を見つけ、それを活かして就職や進学といった進路を決められる点です。また、求人数の多さも機械科の大きな強みです。機械科の専門教科は、全員が同じスタートラインから学び始めます。努力を重ね、「機械」を好きになることで主体性が身に付き、自然と学力も向上します。機械科での経験は、夢を実現するための大きな一歩と信じています。



特徴的な科の取り組み

実践的な学びで課題解決能力を育成

3年生の課題研究では、テーマごとに分かれて研究を行います。手仕上げや溶接などの基本的な技術から、最新のレーザー加工機や3Dプリンタなどの先端技術まで、幅広く工作機械を活用してより実践的な技術を習得します。培ってきた技術と知識を活かし、創造性を発揮し、ものづくりの楽しさと奥深さを学習します。

○高校生アイデアロボット競技大会への挑戦

ロボット製作を通して、設計や加工、電気配線、プログラミングを試行錯誤し、課題を見つけ、解決していく能力を養います。

○イノシカハンターズ

鳥獣被害対策プロジェクト「イノシカハンターズ」として地域の猟友会や地域の方々と連携して、地域課題の解決に取り組んでいます。

○重機の無線化の研究

地域課題の解決にロボット技術を駆使し、ゲーム機のコントローラを用いた重機の無線化に取り組んでいます。

○自治体や企業との連携

本校では、地元自治体や企業、産業界との連携を積極的に行い、実践的な学びを通して社会に貢献できる人材を育成します。外部から技能士の先生を招き、専門的な技術指導を受ける機会も設けています。



挑戦する資格や検定、実績等

資格 ○技能検定 機械検査・機械加工（普通旋盤）

○危険物取扱者（乙種・甲種）

○計算技術検定

○機械製図検定

○リスニング英語検定 など

実績 ○熊本県高等学校アイデアロボット競技大会 4位 技術賞受賞

○第36回熊本県工業高等学校生徒研究発表会 特別賞（熊本県工業連合会長賞）受賞

○技能検定優秀技能者 2名受賞



卒業後の進路（過去3年間の主な実績）

●R6年度 就職・進学

▶JNC 株式会社 水俣製造所、新栄合板工業株式会社、株式会社テラプローブ九州事業所、本田技研工業株式会社、平田機工株式会社、トヨタ自動車株式会社（専門部）、大同特殊鋼株式会社（技術学園生）、JASM 株式会社、京セラ株式会社 鹿児島川内工場、朋和産業株式会社 福岡工場、日鉄物流株式会社 九州支店八幡地区、日産車体九州株式会社、自衛隊・一般曹候補生（海上）
▶九州共立大学 スポーツ学部

●R5年度 就職・進学

▶ヤマハ熊本プロダクツ株式会社、愛知製鋼株式会社（技術学園生）、日産自動車 株式会社、日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所、三菱電機株式会社 名古屋製作所、住友ゴム工業株式会社、日本製鉄株式会社 九州製鉄所大分地区、株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所、マツダ株式会社
▶九州情報大学 経営情報学部、川内職業能力開発短期大学校

●R4年度 就職・進学

▶河村電器産業株式会社、アクトベリサイクリング株式会社、株式会社デンソー（高専生）、トヨタ自動車（高専生・生産関係）、株式会社豊田自動織機、日本製鉄株式会社 九州製鉄所八幡地区、株式会社アドヴィックス、九州電力株式会社
▶大分大学 理工学部、熊本県立農業大学校

卒業生紹介

石牟禮さん
(トヨタ自動車(株)専門部・袋中学校出身)

私は機械科で様々な資格を取得し、検定試験にも多数合格できました。先生方のサポートがあり、充実した学習環境で、旋盤作業や溶接作業など機械科でしか経験できない活動ができました。この経験は就職試験の際のアピールにもなりました。また、自分たちが学んだ知識や技術を用いて、地域社会の課題解決に貢献できることに大きなやりがいを感じています。将来は、機械科で学んだ技術と知識を活かして、さらに多くの人々の役に立つエンジニアになりたいと考えています。



教育課程

時数	1	10	20	30
1年次	国語 3 公民 2 数学 3 理科 2 保体 4 芸術 2 外国語 3 情報 2 機械 7 総計 1 HR 1			
2年次	国語 2 地歴 2 数学 4 理科 2 保体 3 外国語 3 家庭 2 機械 11 HR 1			
3年次	国語 3 地歴 2 数学 2 体育 2 外国語 2 家庭 2 機械 16 HR 1			

